2022～2023 会　報 ＲＩ第2720地区

Rotary

The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 ３１６４ 回
２０２３年６月２３日
第 ３７ 回 例 会

IMAGINE ROTARY

2022～2023年度 ＲＩ会長
ジェニファーE.ジョーンズ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎㉒2171 例会場 事務局 清流山水花 あゆの里内 ☎㉔6665 ㉔6505

人吉ロータリークラブ ホームページ

フェイスブックページ

[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2022～2023年度 人吉ロータリークラブテーマ
ロータリーを機会と捉え、その機会により未来を拓く

本日の例会

国歌斉唱・Ｒソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告・R財団認証ピン贈呈・会務報告

Ｒの友紹介

寄付カード

第３回クラブ協議会　後半

点　鐘　　青木一幸 会長

歌　唱　　ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 竹長一幸委委員

国 歌　「君が代」
Ｒ Ｓ　「それでこそロータリー」

司会・進行　　ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ　中川貴夫委員

会長の時間

会長　青木一幸

皆さん、こんにちは。いよいよ私の会長の時間も、残すところあと二回となりました。ただ来週の最終例会は、一年間の活動をスライドでなぞりながら振り返りの話をさせていただきますので、実質的な会長の時間は本日が最後になろうかと思います。

本年度のRI会長はDEIの推進を強く訴えられました。Dはダイバーシティ（多様性）、Ｅはエクイティ（公平さ）、Ｉはインクルージョン（包摂性）です。とりわけダイバーシティは、昨今、社会的にも政府がその推進に注力をしているところであり、性別の差や各種障害の有無などに関わらず個々人の個性や能力を尊重した経済社会の構築や法整備の実現に取り組んでいます。

そこで本日は、このダイバーシティを、我々にとって最も密接な企業経営の分野においてもさらに推進していくための考え方、ありていに言えば、「そもそもなぜダイバーシティが必要なのか」を私たち自身がなるほどと腹落ちするための理由づけについて、最近マスコミにもしばしば登場される若手経営学者の入山氏の主張を紹介しながら、あらためて皆さんと考える機会としながら、本日の会長の時間にしたいと思います。

今も申し上げたとおり、最近はダイバーシティが流行語のようになっていて、取り組んでいる企業の中には、「他社がやっているから」「投資家に言われたから」と受け身的なところも多いようです。しかし受け身では、経営側も社員側もなかなか腹落ちするのは難しいと、入山氏は指摘しています。そして、世界の経営学で現在提示されている腹落ちするための主要なロジックについて紹介をされています。

それは、端的に言えば「ダイバーシティは企業のイノベーション実現に不可欠だから」というものです。国際的な競争の激化やデジタル技術の進歩などにより、様々な業界が困難に陥っており、現状維持だけでは生き延びることが難しくなっている昨今、自らが能動的に変化して新しい価値を打ち出すこと、すなわちイノベーションが必要となってきます。

そして、そこで重要となるのが「知の探索」であると入山氏は指摘されています。具体的には、イノベーションの源泉は新しいアイデアを生み出すことにあり、そしてその新しいアイデアは「この世にある既存知と別の既存知の新しい組み合わせ」で生まれるというものです。もっともこの事は、皆さんご存知の著名な経済学者のシュンペーターが「新結合」という名称で９０年ほど前から主張しているものであり、決して目新しいものではありません。

人の認知には限界があって、企業では目の前の知と知の組み合わせをやりつくしてしまっていることも多く、そこから新しい結合は出てこない。従って、自分から遠く離れた様々な知を組み合わせる必要がある。これが経営学でいう知の探索というものです。
知をもっているのはいうまでもなく人間です。すなわち、多様な人が一つの組織にいた方が、離れた知と知

の組み合わせが起こり、結果として知の探索になる。このロジックこそが、経営学の面でのダイバーシティの本質であると、入山氏は喝破されています。

いわずもがなですが、ダイバーシティというものは、経営的に必要かどうかに関わらず、ヒューマニズムの観点からも、今日の民主主義社会では当然に受け入れていくべき考え方です。本日は経営的な視点に絞って、ダイバーシティがいわゆる腹落ちするロジックをご紹介しましたが、社会の模範となるべき我々ロータリアンは、ビジネス面だけでなく、日々の生活の中でも率先してその考えを取り入れ実践していくことが求められる立場にあるのだろうと思います。

会長の任期末を間近に控え、本日はこのことをあらためて皆さんともに共通の認識としながら、私の会長の時間を終わりたいと思います。
ご清聴、有難うございました。

幹事報告

幹事　加登住 亮

《6/23 臨時理事会承認事項》
1号議案　会員候補者山口貴弘様　入会の件
2号議案　会員３名の退会申し出の件
　　平山修会員、丸尾真也会員、大賀睦朗会員
3号議案 交代による会員候補者入会の件
　吉野孝司様（九州電力㈱八代営業センター副センター長）

出席率報告

委員長　平山　修

現　会　員　数	48名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	47名	本日の出席率	
欠　席　者　数	12名	75.0%	
出　席　者　数	35名		
免除会員出席数	1名	ZOOM(3)　会場(33)	

【Ｒ財団寄付認証ピン贈呈】

第４回マルチプルポール･ハリス･フェロー
　　片岡 啓一 会員
第１回 マルチプルポール･ハリス･フェロー
　　北 昌二郎 会員
ポール・ハリス・フェロー
　　岩井 和彦 会員

会務報告

【親睦委員会】　　次年度委員長　新堀純子
例会時間変更及び新旧理事役員歓送迎会のご案内
　７月７日（金）　例会18：30～歓送迎会19：00～
　※ネクタイ、ジャケット、バッジ着用

【雑誌委員会】
ロータリーの友６月号紹介
　　雑誌委員　友永和宏

皆さんこんにちは。6月号の紹介です。まずは横組みから、4ページのＲＩ会長メッセージでは、ジェニファー・ジョーンズ会長就任1年間の活動回想が述べられております。 7ページ、ロータリー親睦活動紹介では、倶知安（クッチャン）ロータリークラブのニセコで開催したロータリアン国際スキーフェローシップの模様が掲載されております。

20ページ、ローターアクト情報では、第2610地区富山県のローターアクトが開催した第35回全国ローターアクト研修会の経過が報告されております。

22ページのよねやまだよりでは、熊谷籠原ロータリークラブに米山奨学生として来日されておりましたトルコのイバ、ムスタファ ヒルミさんの出身地の紹介と、帰国後、弁護士研修生としての忙しい毎日の様子、また、本年2月6日に発生しましたトルコ大地震の際に日本からの支援に対する感謝の言葉が掲載されております。

24ページの甘い誘惑と題した記事では、日本の洋菓子の由来と日本の洋菓子のほとんどがフランスから製法が輸入されていること、洋菓子の分類、洋菓子が日本にもたらされた歴史などが述べられています。

次に縦組みです。4ページ、安川電機特別顧問の津田氏は安田電機の概要と日本の製造業の歴史、中国の現状、今後の日本の製造業が目指す方向性について紹介されております。

13ページの卓話の泉では、上田東ロータリークラブ渡辺敏成会員の卓話が紹介されていました。渡辺会員は皮膚科・形成外科クリニック院長で、しわの紹介されております。皮膚の大敵は乾燥で、特に高齢者は乾燥により湿疹へと進行し、痒みを発症します。予防するには皮膚の保湿が重要、そして入浴時の体の洗浄にも注意が必要です。界面活性剤入りのボディソープも体に直接塗らないこと、ナイロンタオルやボディブラシではなく、手で泡立てて体を洗うのが良いということです。皮膚の痒みをよく感じられる会員はぜひ試していただきたいと思います。
以上です。

【寄付カード】
〈ニコニコ箱委員会〉
・**青木会長**　友永先生、お忙しい中にロータリーの友紹介をお引受け頂き有難うございました。
・**葉山会員**　平山所長、新転地でのご活躍を祈念し、ニコニコします。
〈Ｒ財団委員会〉
・**片岡会員**　4個入りピンを受章しました。

点 鐘　　青木一幸 会長

第３回クラブ協議会　後半
　　進行　青木一幸会長

【人吉ＲＣ奨学基金委員会】　　委員長　有馬宏昭

例年通り、人吉高校５名、球磨工業高校３名の作文と学校長の推薦書提出いただきました。1月25日持ち回り理事で会の承認をいただきました。奨学生決定通知書を各学校に送付いたしました。新年度の奨学金授与式を、4月25日は球磨工業高校、4月27日には人吉高校において学校関係者と青木会長出席のもと、奨学金授与式を実施いたしました。予算は奨学生認定盾（8個）

48,400円、5,000円の委員会費　合計53,400円　予備費5,000円は使っておりません。

【キッチンカー管理運営委員会】　　委員長　本田節

今年度はコロナ禍にあって実質の食の炊き出しは出来ませんでしたが、チャレンジカップ陸上競技会や第2720地区の地区大会（人吉市）において、公共イメージアップのため、会場に出動させていただきました。この６年間で一定の役割を果たしたのではないかという事で委員会を解散しても良いのではという意見もありましたが、次年度の北会長からの強い要望もあり、存続することになりました。次年度もこれまでの方針のとおり活動できればと思っています。

【人吉RC戦略計画委員会】　　委員長　北昌二郎

クラブの活性化を図るため戦略委員会は11月11日例会においてクラブフォーラムを開催しました。
討論テーマは
①委員会活動の進捗状況について（管理運営部門）
②人吉ＲＣに期待するところ望んでいることや改善して欲しいこと
管理運営の各委員会に活発に議論して頂きました。結果は会報へ掲載しております。現、次年度の運営に活かしていきたいと思っております。

【職業奉仕委員会】　　委員長　中川貴夫

我が職業奉仕委員会は、「職業奉仕」が唯一、世界に発信できるロータリーの崇高な理念である。全会員と共に職業奉仕が理解できる例会を行う。』として、掲げておりましたので、地区より木下職業奉仕部門長に10月の例会に来ていただき出前セミナーを致しました。分かりやすい例会卓話セミナーを開催したつもりですが如何でしたでしょうか？

5月12日（金）会員の皆様の協力頂き各企業より7名の優良職員の表彰を行う事が出来ました。毎年、優良職員表彰をさせて頂いておりますので会員の皆様の会社も該当する職員さんが少なくなっているのが、これからの課題であると思います。今回、在籍20年以上、以下を基準として、記念品を10.000円と5.000円とさせて頂き、会員の皆様に半額負担をお願い致しました。これを基準にこれから励行して戴くと良いのでは無いかと思います。そして、今年もコロナの為に委員会も開催しておらずご迷惑をお掛け致しました。来年度は、家庭集会も開催されますのでもっと素晴らしい委員会になることを期待いたしております。

【社会奉仕委員会】　　委員長　水野虎彦

社会奉仕委員会の今年度の主な活動は22年10月15日に開催した第６回チャレンジカップ陸上競技大会ですが、２月３日のクラブ協議会においてこの報告は申し上げましたので、省略致します。ただ、反省点は次年度への申し送りとして述べさせて頂きます。

次年度新堀委員長へは、
①ボランティアのスタッフをプラス５～６名多く予備として確保し、その６名は競技者全体をよく観察しながら必要とあらば付添いの応援につく。
②熱中症対策として、競技者とボランティアの人数が収容できるテントを設置。座って休憩ができるようパイプ椅子の設置。経口補水液を入れたクーラーボックスを設置し、競技者及びボランティアの方々が自由に飲めるようにしておく。

この２点を申し送りさせて頂きますが、具体的なもっと良い案があれば次年度の社会奉仕委員会で考えて頂きたいと思います。

【環境保全委員会】　　委員長　塚本哲也

①早朝例会の実施

9月16日早朝、村山公園において清掃活動を行いました。多くの会員の皆さんにご参加いただき、道端に堆積していた大量の枯葉を撤去することが出来ました。
②地域のクリーン作戦への参加

花火大会翌朝8月16日、相良護国神社周辺の清掃を行いましたがほとんどゴミはありませんでした。花火大会では相良護国神社は立ち入り禁止区域となっておりますので、新たな場所の設定が必要になります。次年度の委員長さん宜しくお願いします。
③環境問題に関する卓話

北海道大学から人吉出身で同級生の泉教授にお越し頂き、人吉盆地の地形や球磨川、川辺川の特徴に基づいた川辺川ダムの必要性について詳しく説明していただきました。

【地域発展委員会】　　委員長　春木　顕

10月始めに地域発展功労者表彰者の候補選考を行い、豪雨災害被災者への物品配布等はもとより、音楽会などイベントを通して被災地域の心の回復にも熱心に取り組んで来られた人吉市ボランティア協議会を表彰することに決定しました。10月28日例会に人吉市ボランティア協議会を代表して木村恵子会長、宮原芳子、本村令斗副会長にお越しいただき、地域発展功労者表彰を行いました。

【青少年奉仕委員会】　　委員長　岩井和彦

本年度は４つの計画をあげて活動してまいりました。
①青少年支援事業への協力
②青少年奉仕月間（５月）に外部卓話
③人吉市青少年育成市民会議への参加
④青少年へ向けた文化スポーツへの支援
①と④については実施に至りませんでした。②の外部卓話には青井阿蘇神社福川宮司をお呼びして少し違った角度からのお話をいただきました。③については、コロナの影響で会議はすべて書面決議で行われました。また、おくんち祭りの夜間パトロール、大畑地区での青色防犯パトロールに参加しております。計画のすべてを実施することはできませんでした。

【ローターアクト委員会】　　委員長　伊久美早利

今年度の活動計画について、以下の通り実施。
①ローターアクトクラブ例会及び諸活動への参加・支援
今年度は例会は計２１回開催し、内訳は会場開催9回、青井神社清掃、新会員歓迎会など会場外例会9回、ロータリーとの合同例会３回でした。12月8日の例会では豊岡ローターアクトとオンラインで交流を行いました。ロータリアンの参加は延べ２８名でした。2月24日の新会員歓迎会では青木会長、地区アクト委員長の水野会員など3名、５月26日のアクトの梅田さんが店長のココルでのワインを楽しむ会では、次期アクト委員長の加登住幹事、中川会員など6名、また、年度を通して平田

会員に参加いただきました。多数の参加ありがとうございました。次年度においても皆様の参加をよろしくお願いします。
②ローターアクト会員の増強支援（３名目標）
今年度の新規加入はトータル４名で内訳は転勤異動に伴う入替えが１名、アクトの勧誘による加入が１名、またロータリアンからの紹介による加入が２名で目標の３名を上回ることができました。会員数の増減については、退会する会員もいたことから純増は１名で現会員数は８名となっています。先日のアクトの現状を報告しましたが、今後よりアクトを活性化するためには最低10名程度の会員数は必要かと思っています。よって次年度も提唱クラブとしてアクトの会員増強により一層のご協力、ご支援をよろしくお願いします。次年度は加登住幹事が新委員長となられます。引き続きのご支援をよろしくお願いします。２年間大変お世話になりました。

【米山記念奨学委員会】　　委員長　堤　正博
①米山奨学生招待卓話 2022.10.21例会 来訪4名
2720地区 米山奨学生 朴 利澈(パクイチョル) 君
熊本県立大学 日本語日本文学科 研究テーマ 日本語の記述的研究　同行:米山資金推進委員会 小崎正道様)
世話クラブ八代RC　ｶｳﾝｾﾗｰ 吉田明子様、村田眞一郎様
委員会費支出は朴さんへ来訪記念としてボールペンを贈呈（4400円）
②寄付報告6/20現在
・一般寄付285,000円　・特別寄付95,000円
・カード寄付15,000円

【Ｒ財団委員会】　　委員長　片岡啓一
11月にＲ財団卓話を実施。
委員会活動は、「世界ポリオデー」にちなみ、11月23日に2720地区財団委員会主催で「ポリオ根絶」を目指し熊本サクラマチプロムナードを中心に開催された募金活動に参加。
10月15日多良木総合グランドにおいて社会奉仕委員会事業の知的障がい者陸上競技大会には、Ｒ財団補助金から276,108円、人吉RCから280,667円（決算額）で「第6回人吉RCチャレンジカップ陸上競技大会」として開催。
そして、海外の大学に留学し「疾病予防と治療」及び「感染症制御」について勉強するためにロータリー財団奨学生の申込みをしていた錦町の吉本民樹君のＧ補助金奨学生が決定。本年9月よりロンドンの大学に留学することが決定。人吉ＲＣがホストクラブとして援助、吉本君の送り出しとしてお世話をすることになりました。このことは、人吉ＲＣにとっても久しぶりに学生の海外派遣事業に取り組むことになり、帰国後の活躍に大いに期待し、有意義なそして楽しみな活動になる事と思います。

【公共イメージ委員会】　　委員長　増田隆二
青井阿蘇神社参拝後の表敬訪問を計画し実施しました。例年通りの報道機関での広告等を行いました。
コロナ禍で欠席も多く、ご迷惑おかけしました。

【講 評】　　延岡研一ガバナー補佐
青木会長、加登住幹事、各委員会大変お疲れさまでした。
クラブ管理運営については、コロナの影響が残る中でしたが、例会プログラムもＳＡＡ委員長も加わり、担当委員会との打ち合わせや地区の出前セミナーも取り入れていい例会運営や親睦ができたのではないでしょうか。但し、ハイブリッドやズームでの出席でニコニコや各種寄付も減ってきていますが、来期は通常例会完全復活で寄付額の増加を願っています。新年会においては、豊岡RC（RAC）の会員がゲストとしておいでいただきありがとうございました。次年度、お返し訪問の計画はあるのでしょうか。
会員増強については、各クラブ共に悩ましい現状で、会員減少が予算組にも影響が出ており、Ｒ情報や公共イメージ（雑誌、会報も）の活用も含めての増強策が喫緊の課題ですが、地道な声掛けしかないのでしょうか。
奉仕プロジェクトについては、職業奉仕は地区の木下部門長の出前セミナーはとても良いセミナーでしたので、会報を今一度ご覧になって再認識してみてはいかがでしょうか。
社会奉仕のチャレンジカップは3年振りの開催でしたがボランティアも含めて多くの参加者があり成功裏に終わったと思いますが、水野委員長が言ってました通り、アンケートを基により良い大会にして頂ければと思います。社会奉仕、環境保全、地域発展は今後益々ライオンズクラブや他団体を巻き込んだ活動の模索が必要になってきます。
青少年奉仕はあて職対応が多いのですが、これらへのしっかりした対応がロータリーの認知度向上にも繋がりますのでしっかりと対応していきましょう。
また、今後は地区が開催するRYLA（2泊3日の研修：本年度は天草の御所浦で開催）への青少年参加者を募ってみてはどうでしょうか。ロータアクトは伊久美委員長も会員への出席協力を毎回ラインにアップしてくれましたが、より多くの会員参加がアクトの励みにもなりますので、来期は平田さんに負けないように、みなさん一度は参加してみてはどうでしょうか。
国際奉仕は渡辺委員長におんぶにだっこ状態でしたが、小田孝志氏のノモンハンの卓話は戦争の悲惨さや平和のありがたさを痛感させられました。
米山は久し振りに留学生卓話で韓国の朴（パク）君の卓話でしたが、日韓関係も雪解けムードの中、是非とも日韓の懸け橋になる人材になって頂ければと思います。
Ｒ財団は降って湧いた依頼でしたが、財団のグローバル補助金奨学生として李（吉本）民樹君が希望しているとの事で、人吉RCが受入れクラブとなり申請し、晴れてロンドン大学（受入れクラブ、ロンドンRC）に入学することになりました。申請手続きでは青木会長にお骨折り頂きありがとうございました。9月入学ですが、毎月の奨学生レポートをクラブから地区ホームページにアップしないといけませんので、次年度の対応よろしくお願いします。
改めまして、青木会長、加登住幹事、お疲れさまでした。

閉　会